第 77 回長崎大学 FD　全学教育 FD ワークショップ（英語科目）実施報告書

平成 24 年　6 月　8 日 提出

1. 題目	新しい教養教育における外国語科目・英語の役割
2. 開催日時・場所	日時：平成 24 年 3 月 3 日（土）24 日（土）のどちらか 1 日　13 時～16 時 場所：長崎大学教養教育講義棟　322 教室　(CALL 1)
3. 主催	長崎大学教養教育　英語小委員会
4. 参加者数 (別紙に参加者名簿を添付すること)	32 名
5. 長崎大学 FD に関する指針第二項への該当について 【複数選択可】	該当するものに○を記入すること [○] (1)　教員の教育活動に関するもの [○] (2)　カリキュラムの改善に関するもの [　　] (3)　教育の組織的改善に関するもの [○] (4)　その他教育改善に関するもの
6. 今回の FD の主旨・意義 (5.に関連した形で記述すること)	本学では平成 24 年度から教養教育を内容、方法とも大きく改革する。その改革の中心のひとつが、英語教育改革である。そのため、専任の英語教育担当教員を新たに 5 名採用し、教養教育の英語の授業のコマ数の半数以上を常勤教員が担当することとした。しかしながら、コマ数の半数近くは依然として非常勤講師に担当を依頼する。当然、学内の専任教員とともに、非常勤講師に、本学の英語教育の方向性を正しく示すことが必要となる。 また、本学の学生のニーズや各学部のレベルを把握し、適切な指導を行ってもらう体制を整える必要もある。今回の FD で、本学の英語教育改革の方向性や目的を伝え、理解してもらうことが大切である。これらの改革内容は、本学の専任の英語教員にも周知徹底する必要がある。 具体的には、まず、新しい教養教育における英語教育の位置づけを理解してもらう。また、これまで教員間の指導内容等で生じていたアンバランスを是正するために、共通指導項目の周知徹底を図る。評価の平準化への試みの一貫として、平成 22 年度から導入した G-TELP（国際英検）の実施方法や評価への利用方法の指導も行う。同時にこれまでのデータを示し、本学学生の英語学力の現状も把握してもらう。 さらに、本学専任教員作成の e-learning 教材の紹介や CALL 教室の利用方法の説明を行う。特に、平成 24 年度より導入した千葉大学の CALL 教材、「3 Step CALL システム」の理論的背景の講義を行い、その後、「3 Step CALL システム」を実体験していただき、理解を深めてもらう。
7. プログラム構成 [題目・担当講師] (当日使用した資料等を添付すること)	あいさつに続き、ＦＤ開催の趣旨、目的を説明した後、プログラムにそって、以下のように進行した。 1. 新しい教養教育における英語教育について(担当　橋本副学長　20 分) 2. G-TELP のデータから見る、本学学生の英語学力(担当　小笠原　20 分) 3. 共通指導項目と英語指導内容(担当　西原教授　20 分) 4. CALL 教室と e-learning プログラムについて(担当　奥田先生　90 分) 5. 全体の質疑応答(担当　小笠原　20 分)
8. 実施した FD の	本学の学生のニーズや各学部のレベルについて情報の共有を図ることができ

成果等 (アンケート等の資料がある場合は添付すること)	た。 また、先生方に「3Step CALL システム」を体験していただくことにより、興味を持っていただくこと及び周知を図ることができた。
9. 実施代表者の連絡先	平成２４年３月まで 氏名：英語小委員会委員長　橋本　健夫 部局：大学教育機能開発センター e-mail：hasimoto@nagasaki-u.ac.jp　　内線：2338 平成２４年４月から 氏名：英語小委員会委員長　稲田　俊明 部局：言語教育研究センター e-mail：inadat@nagasaki-u.ac.jp　　内線：2379
10. 申請者の連絡先	氏名：英語小委員会副委員長　小笠原　真司 部局：言語教育研究センター e-mail：ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp　　内線：2094